

事務局だより I N F O R M A T I O N

きれいな街づくり
そのキーワードは「アート」

KIMASSI

KANAZAWA

Vol.109
November

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 2010年11月 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

問屋町街角アートパークコンペティションを開催

上海視察研修

うちのキラリンさん

第7期「金沢商人塾」開講式&例会報告

バトンエッセー

第6回キマッシカップ オープンゴルフ開催

第5回キマッシカップ ボウリング開催

第36回商社対抗 ソフトボール大会開催

事務局だより



6月

●3日 理事会

1. 総務委員会より

- (1) 集団健康診断の実施について
- (2) 緊急貸出制度について
- (3) 第47回通常総会について

2. 厚生委員会より

- (1) ポップサーカスの前売券の販売について
- (2) 新入社員フォローアップ研修の実施について

3. 事業戦略委員会より

- (1) 金沢美術工芸大学との協定書締結について
- (2) 広報誌第108号の発行について

4. 開発プロジェクトチームより

- (1) しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2010」の参加補助について

5. 事務局より

- (1) 金沢商人塾について
- (2) 組合員の従業員数調査結果について
- (3) 理事のためのQ&A(役割と責任)の配布について
- (4) 緊急連絡先の名簿作成について

7月

●8日 新入社員フォローアップ研修(1回目)

●21日 理事会

1. 総務委員会より

- (1) 景況調査について
- (2) 集団健康診断の実施について

2. 組合運営委員会より

- (1) 会館、防犯灯の修繕等について
- (2) 組合会館の収支報告について

3. 開発プロジェクトチームより

- (1) 「きれいな街づくり」基本構想策定業務の委託業者の決定について

4. 事業戦略委員会より

- (1) 組合中期ビジョン「きれいな街づくり」の推進について
- (2) キマッシマークの商標登録の更新について

5. 事務局より

- (1) 金沢商人塾について
- (2) 厚生年金基金説明会の開催について

8月

●2日～5日、9日～11日 生活習慣病予防健診

【一般健診】 35社 297名受診

【付加健診】 9社 17名受診

【簡易ドック】 16社 65名受診

【日帰り人間ドック】 11社 28名受診

●25日～27日 健康診断 51社 514名受診

9月

●3日 理事会

1. 総務委員会より

- (1) 4月～6月の収支報告について
- (2) 景況調査の集計結果について
- (3) 集団健康診断の実施について
- (4) 運転資金特別融資について
- (5) 緊急貸出制度について
- (6) 組合員の入退会について
- (7) 問屋神社秋季例祭について

2. 厚生委員会より

- (1) コロナワールド映画特別鑑賞券の販売中止について
- (2) ポップサーカス前売券の販売について

- (3) 営業マン研修の開催について
- (4) リテールサポート研修のニーズ把握のためのアンケート調査について

(5) 第6回キマッシカップ・オープンゴルフについて

(6) 第36回商社対抗ソフトボール大会について

(7) 第5回キマッシカップ・ボウリングについて

3. 組合運営委員会より

- (1) 町内一斉清掃について
- (2) 共同駐車場の整備について

4. 事業戦略委員会より

(1) 北陸鉄道バス車内放送について

(2) 組合中期ビジョン「きれいな街づくり」の推進について

5. 青年部会より

(1) 8月定例会について

(2) 視察及び10月定例会について

6. 事務局より

(1) 全国卸商業団体厚生年金基金理事会・代議員会報告について

(2) 金沢市副都心北部直江土地区画整理事業について

(3) 第3回石川県新人学童野球選手権大会の開催と当組合の支援について

(4) 金沢商人塾第7期開講式、並びに第1回例会の結果報告と第2回例会について

(5) 経営の参考となる著名人の講演CD追加購入分の貸出について

(6) 祠の移設について

(7) 湯涌温泉観光協会からのお知らせについて

●29日 町内一斉清掃

編集後記

最近、メディア等で中国脅威論が盛んに叫ばれていますが、中国との貿易抜きにはビジネスを考えられない身としては心穏やかではられません。身の回りにあふれる中国製品と、対中輸出によって潤う製造業の現状をみると、いかにそれに負うところが多いかを考えさせられます。

貿易面での対中国比率は2009年ですでに総貿易額の20%を超え、今年度はさらに高くなるのは確実のようです。多くの経営指南書は「ひとつの取引先に集中してはいけない、全体の20%程度に抑えるべきである」と書いています(机上での原則論ですが)。

さて、今中国全体をひとつの取引先としてとらえると、リスクを分散するために現在の取引を制限する方向に向かうべきか、一極集中のリスクを補って余りある利益があるか、いずれかの選択を迫られているような気がします。

それにしても一衣帯水[※]とはよく言ったもので、川幅が狭ければ対岸の火事でも我が家に燃え移る危険があるということですね。

(K, M)

※一衣帯水…『南史』出典。一筋の帯のように細い川や海峡を隔てて近接していること。中国との国交が正常化して交流が始まった頃から盛んに使われるようになった。

街なかTOPICS

北陸銀行金沢問屋町支店

北陸銀行金沢問屋町支店の新店舗が完成！

アートギャラリーを併設し、エコにも配慮

移転のため、今年3月から建設が進められてきました北陸銀行金沢問屋町支店の新店舗が10月19日(火)に完成し、竣工式が行われました。

新しく移設された場所はご存じのとおり、旧第11共同駐車場跡地です。建物は周辺環境と調和し、エコにも対応した近代的なもので、建物の中にはアートギャラリーなども設けられています。



瓦屋根とシックい壁を使用した外観、太陽光パネルを用いてエコにも対応している。

問屋町街角アートパーク コンペティションを開催

最優秀賞作品が決定!

今年度中に施工の予定

10月11日(祝・白)金沢流通会館2階小ホールにおいて、問屋町街角アートパークコンペティションを開催した。このコンペティションは、5月に金沢美術工芸大学と締結した「金沢市問屋町の街づくりに関する協定書」を基にその一環として行ったもので、当組合と金沢美大が主催した。

協定は「アート」をキーワードとした街づくりを共同して行っていくとした内容であり、今回、問屋町の南西の角にあたる旧交番跡地の30坪の空間設計について、金沢美大のデザイン科環境デザイン専攻の3年生19名が各自のアイデアを競い合った。

審査会は、司会の田中事業戦略副委員長の開会の辞で始まり、続いて富木理事長より開会の挨拶があった。審査員の紹介を行った後、蜂谷金沢工業大学教授より審査委員長挨拶をいただいた。引き続き学生作品発表に移り、1人6分の持ち時間でコンセプトの発表と質疑応答を行った。全員の発表が終わったあと、第二次審査で

5名の作品を選出し、第二次審査で入賞作品を決定した。今後、最優秀賞に選ばれた作品を(株)五井建築設計研究所により実施設計し、今年度中に施工する予定である。



最優秀作品

スケッチブックを広げたような形状、またパレットにも似ている。今後制作する芸術作品を展示することもでき、「アート」をキーワードに進めていく理由により選出された。



19名の学生が発表しアイデアを競った。



最優秀の高木吉子さん。

審査結果

- 最優秀賞 高木 吉子さん
- 優秀賞 本間 愛子さん
- 優秀賞 姚 瑤さん
- 入選 飯沼 英美さん
- 入選 山田 緑さん



富木理事長より表彰状が贈られた。



総評を述べる蜂谷審査委員長。

- 審査員構成
- 審査委員長 蜂谷 俊雄 (金沢工業大学教授)
 - 審査員 真鍋 淳朗 (金沢美術工芸大学教授)
 - 坂本 英之 (金沢美術工芸大学教授)
 - 富木 昭光 (当組合理事長)
 - 西川 英治 (当組合事業戦略委員長)

青年部会主催

清掃活動&組合員 社員交流会を開催

8月20日(白)に青年部会メンバー、OB、経営者・従業員など、総勢84名(うち子ども19名)が参加して、町内の清掃活動&組合員社員交流会を実施した。

朝8時にきまつし広場に集合し、活動主旨、清掃の役割分担などの説明があったあと、5つのグループに分かれて町内を約1時間かけて清掃した。日々清掃活動をされている商社もあり、集まったゴミは雑草が大半を占めた。



豪快に肉を焼きながら楽しく交流。



青空の下、汗をかくのも気持ちいい!

上海視察研修

発展する中国の勢いを体感!

尖閣諸島問題で日中関係が最悪の状況だった9月24日(金)、3泊4日で上海視察へと出発した。出かける前日には、中国で日本人4人が拘束されるという事件も起き、時期が時期だっただけに、多くの方々に心配をおかけしたことをこの場を借りてお詫言したい。

さて、今回の視察の目的は、上海万博で最先端の技術や各国の文化に触れること、そして、発展しつつある中国の経済や街の雰囲気を感じることであった。

上海万博では、入場する前からさすが中国と驚かされた。なんといってもスケールの大きさに会場内に電動バスやタクシーが走り、会場内を流れる大きな川を渡るフェリーや地

下鉄も移動手段の一つとして利用されるなど、イベント会場というよりは、むしろ一つの町のようなスケールであった。

もう一つ驚いたのは来場者数である。私達の行った日は空いていたようだが、入場者数約36万人。その前日は中国の休日で、過去最高記録の63万人だったそうだ。数字だけでは想像しにくい金沢市の人口が約46万人、1日にほとんどの金沢市民が入場しているようなものであり、とても多く多くの人が日々訪れていることになる。この来場者の多さに、さすが中国と改めて感じた。

大きな敷地の中に様々な国、産業、都市などの特徴的なデザインのパビリオンが所狭しと建ち並び、会場の中は異空間であった。ちなみに私たちのガイドを務めて頂いた方は全パビリオンに入ったらしいが、要した時間はなんと2週間。スケールの大きさを、これでご理解頂けると思う。私たちはその中のいくつかの国のパビリオンに入ったが、説明のほとんどは英語か中国語。自分の語学力の無さを痛感しながら、必死にカメラのシャッターを押してまわった。文字は読めなかったが、実際に触って体験できるブースや映像を観るブースでは、各国の特産物や文化、また最新の技術などに触れることができ、



想像以上のスピードで発展する上海。

貴重な経験ができた。

上海、その活力と ダイナミズム

今回の視察では、上海の観光地にも出かけた。上海の街並みは想像以上に立派な都会だった。街を歩く若者はおしゃれで、携帯電話やiPadを持ち歩き、東京となら変わらない様子だ。自分勝手なイメージでどこかで「なんだかんだ言ってる」まだまだ日本の方が発展している」と思っていたが、同等か、ひょっとしたら上海のほうが…。15年前はまだ発展途上だったらしいが、もう完全に世界屈指の大都市だ。その発展のスピードに正直驚かされた。

様々な意味で注目され、活力ある中国の空気を感ずることができた視察だった。東京とはまた少し違う雰囲気を持ち、とにかく活気があった。人口が多いからなのか、万博期間中だからなのか理由はわからないが、まだまだ発展しそうな雰囲気があった。それを体感できただけでも今回の視察の目的は達成できたと思う。

今回、上海万博期間中というこのタイミングで視察ができたことは、非常に良かった。このような機会を与えてくださったことを、心より感謝申し上げます。

うちの キラリンさん

問屋町にお勤めの
元気な社員の方をご紹介します

加賀友禅を 将来に残したい

丸与商事株式会社
坂本 純平さん



石川の伝統産業である加賀友禅に製造からかわりたいという希望がけない、9年前に配属になりました。年2回の発表会で新作を提案するほか、毎月京都で行う販売会でデザインや企画の相談に応じるなど、お客様のニーズに沿ったモノづくりを心がけています。着物の市場規模が縮小しているのは事実ですが、全国的に知名度が高い加賀友禅には、まだまだ商売のやり方はあります。流行の変化やグローバル化なども念頭に、固定観念を捨てた発想も必要かもしれません。

作家さんと相談しながら加賀友禅のブランド価値を高める良い作品を作り将来に残していく、そのための担い手でありたいと願っています。

「ありがとう」の 声に励まされて

株式会社トミキライフケア
高野 剛さん



介護の現場のニーズにこえて、あらゆる分野の福祉機器、介護用品を扱っています。例えば車椅子一つとっても、手こぎに電動、サイズや機能もいろいろ。ご本人や介護の状況、生活環境などを考えて何機種かを提案し、試して納得した上でご利用いただくという営業スタイルですが、「本当にありがとう」の声に励まされます。

入社した平成10年は介護保険の施行直前!大変な時期でしたが、勉強に加えて営業を通した実務経験を積むことができ、それがケアマネジャーの資格取得につながりました。だから、日々の業務の中で起きる負のことも何かにつながるとプラス思考で頑張っています。

32名の塾生を迎えて開講

第7期「金沢商人塾」は、7月24日(土)に32名の塾生(組合員7名、外部25名)が参加して、開講式と第1回講演を開催した。開講式では、金沢市産業局商業振興課の桶川課長に続いて富木塾長より挨拶があり、引き続き第1回の講義に移った。

第1回 7月24日(土)

中国古典からみた
人間学と経営学について
名古屋大原学園 学園長 杉山 孝男氏



社長学とは「社長が企業経営を工夫し経営性能を高め、社員も社長も共に幸せになる学問」である。企業幹部は、名言

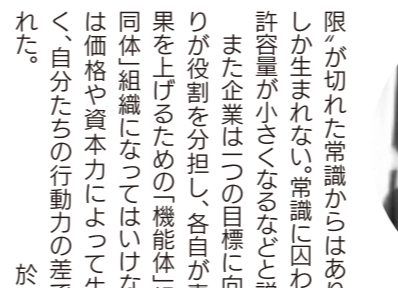
や名著を通して先達の教えを承り、その教えを改良活用して現世代の人々を幸せにし、その成果を次世代に伝承することが必要だ。

学びたい名言として「全国のお母さんにかぎれがでないように洗濯機を作っている」という旧松下電器産業の集団就職の女子社員の言葉など、古典以外の言葉も取り上げられた。

第2部では同・事務局長の長谷川義明氏より「和紙清書と名句の活かし方」の講義を受け、各々気に入った名句などを清書した。



各々が気に入った名句などを毛筆で清書した。毛筆の効用は「深沈厚重(落ち着いて深みのある)」天下第一等の人物をつくることにある。



第3回 10月16日(土)・17日(日)
沈まぬ人生 沈まぬ経営
(株)日本ヒューマン経営研究所
社長 大塚 徹氏

国内経済では①縮小経済②ほしくない経済③上(のほ)り志向④いかに下らせるかが鍵になる。新幹線が開通すると便利になるが東京と同じモノを売っているは駄目。B級グルメなどオリジナリティが重要で、金沢でもただ「魚がおいしい」ではなく、「これは」という料理名が必要だという。集客ソフトとして、年間8千万人の観光客が訪れる京都を見習えば良いと指摘された。今後、国際化は一層大規模に進むが、それは日本の文化を世界に売っていく時代であると講義を締めくくった。



毎年恒例となっている合宿での講義。沈まぬ生き方として「非常識」に考えることが必要という。賞味期限が切れた常識からはありきたりの成果しか生まれぬ。常識に囚われると変化への許容量が小さくなるなどと説明された。また企業は一つの目標に向かって一人ひとりが役割を分担し、各自が責任を持って成果を上げるための「機能体組織」であり、「共同体組織」になってはいけない。企業の格差は価格や資本力によって生じるのではなく、自分たちの行動力の差であると強調された。於：湯涌創作の森

バタフライエッセー Vol.10!

感性とは退化してしまうものなのか?

本が好きです。あちこちの図書館へ行っては目に付いた本を手当たり次第に借りまくる。なので、読んだ数ほどには為になつてないかもしれないが、それでも本は心を豊かにしてくれる。そして、時として道標となることさえある。

『ライ麦畑でつかまえて』。初版から半世紀を経た今でも、多くの若者に支持される小説。これを読んだ当時、あらゆるものに背を向けていた自分を肯定してくれた気がして大いに感動した。と同時に、向き合う勇氣も与えてくれた。今、私がココに居場所を与えられているのもこの本のおかげだと思う。数年前に村上春樹氏の新訳でこの本と再会したが、何も感じなかった。なぜかしら? 年のせい? そつえば、最近には本に限らず映画や音楽でも感動が薄くなってきた気がする。いや、何も感じないわけではない、ただ昔のようにドカーンと感情の波が押し寄せてこないのだ。これは感性が失われてしまったということなのだろうか?

私は旅人です。20代でアジアを彷徨ったところから始まり、出張ではあるが今も毎週のように日本各地を旅している。先日、大分の臼杵へ行った。途中「臼杵石仏」に寄ってみた。鬱蒼たる林間に苔むした石仏が幾体も連なる様は尊厳に溢れていた。聞けば、起源は平安期に遡るのだという。人口わずか4万人余りのこの小さな港町にいったいどんな文化があったのか? 目を閉じていかに思を想ってみた。するとじわっと身体が粟立ってくるのを感じた。初めての感覚だった。

長崎では平和公園に行ってみた。爆心地を前に形ばかり手を合せて祈りを捧げた。するとまたも粟立ちが起り、やがて震えがきて思わずしゃがみ込んでしまった。心霊現象か?とも思える出来事だったが、思い返してあれこれ考えているうちにふと気付いた。若い頃はただただ直感的に感じたものが、年を重ねその背景にも想いを馳せる意識が育ち、この奇妙な感覚を生み出したのかもしれない。だとすれば、感性は老いて退化したわけではなく、むしろ磨かれたといつてもいいのかもしれない。そう考えると年を取るのも悪くはないなと思えてくるのである。

田中 清一
(株)たなかや専務取締役



あるが今も毎週のように日本各地を旅している。先日、大分の臼杵へ行った。途中「臼杵石仏」に寄ってみた。鬱蒼たる林間に苔むした石仏が幾体も連なる様は尊厳に溢れていた。聞けば、起源は平安期に遡るのだという。人口わずか4万人余りのこの小さな港町にいったいどんな文化があったのか? 目を閉じていかに思を想ってみた。するとじわっと身体が粟立ってくるのを感じた。初めての感覚だった。

長崎では平和公園に行ってみた。爆心地を前に形ばかり手を合せて祈りを捧げた。するとまたも粟立ちが起り、やがて震えがきて思わずしゃがみ込んでしまった。心霊現象か?とも思える出来事だったが、思い返してあれこれ考えているうちにふと気付いた。若い頃はただただ直感的に感じたものが、年を重ねその背景にも想いを馳せる意識が育ち、この奇妙な感覚を生み出したのかもしれない。だとすれば、感性は老いて退化したわけではなく、むしろ磨かれたといつてもいいのかもしれない。そう考えると年を取るのも悪くはないなと思えてくるのである。

第7期

第2回 9月18日(土)

こんな時代に生き残る企業経営
経済評論家 西村 晃氏



円高が続く今こそ世界に出る時代である。上海に進出したワタベウエディング(株)はキーキ入刀などの文化を中国に持ち込んだ。世界に通用する日本の商品・サービスが育ったのは、口ごまさない日本の消費者によるところが大きい。

今後のスケジュール

- 第4回 11月27日(土)
講師/ 講義師 講談協会 常任理事 一龍斎 貞化氏
「上に立つ人の条件」
- 第5回 12月25日(土)
講師/ (株)商工中金経済研究所 取締役所長 坂井 茂樹氏
「変化はチャンス」
- 第6回 平成23年2月26日(土)
講師/ 『納棺夫日記』著者 青木 新門氏
「いのちのバトンタッチ」
～映画「おひびと」によせて～

第5回

キマツシカップ ボウリング大会

第29回 商社対抗 ボウリング大会

第5回キマツシカップ・ボウリングは、10月14日(木)に、19社38チーム114名(男性71名、女性43名)が参加し、マンボウ金沢において行われた。昨年度に引き続き、会場を貸し切りにしての開催となった。



小川商事(株) Aチームの皆さん

【団体の部】
優勝 小川商事(株) A 903点(平均得点150点)
準優勝 (株)オータニ 893点(平均得点149点)
第3位 富木医療器(株) A 869点(平均得点145点)

【個人男子の部】

優勝 杉本 芳晴 金沢機工(株) A 382点(190点・192点)
準優勝 松下 竹史 勸金沢市水道サービス公社 B 363点(191点・172点)
第3位 井上 隆成 富木医療器(株) A 349点(174点・175点)



杉本 芳晴さん

【個人女子の部】

優勝 駒井 英津子 (株)オータニ 333点(187点・146点)
準優勝 竹林 照美 小川商事(株) A 262点(146点・116点)
第3位 中西 智美 小川商事(株) C 258点(133点・125点)



駒井 英津子さん

【結果】

優勝 (株)つくーる
準優勝 北村電機産業(株)
第3位 (株)キヨー・エイ、(株)丸菱
最高殊勲選手賞 寺田 和儀 (株)つくーる
打撃賞 石田 将之 (株)つくーる
敢闘賞 横山 光 北村電機産業(株)



(株)つくーるの皆さん、初優勝おめでとうございます!

第36回

商社対抗 ソフトボール大会

第36回商社対抗ソフトボール大会は9月11日(土)に、9社9チームが参加して金沢市営専光寺ソフトボール場で行われた。決勝戦では初優勝を狙う(株)つくーるが北村電機産業(株)に8対6で競り勝った。



見事な優勝を飾った、多崎能成氏

第6回 キマツシカップ オープンゴルフ開催

第6回キマツシカップ・オープンゴルフが9月5日(日)に、28社16組60名が参加して、ゴルフ倶楽部金沢リンクスにおいて行われた。競技はダブルペリア方式で行い、参加者は各々腕を競い合った。

【結果】

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	多崎 能成 (有)カタオカテック	41	41	82	10.8	71.2
準優勝	中西 一彰 中西(株)	43	44	87	15.6	71.4
第3位	土合 秀幸 (株)つくーる	46	45	91	19.2	71.8